

「次世代デジタルインフラの構築」プロジェクトに関する意見

令和8年4月2日

産業構造審議会グリーンイノベーションプロジェクト部会
産業構造転換分野ワーキンググループ

本ワーキンググループで実施した議論を踏まえ、プロジェクト担当課室、NEDO、各実施企業等におかれては、プロジェクト推進に当たって以下の点に留意のうえ、今後のモニタリングにおいて、その対応について報告されたい。

1. プロジェクト全体・各実施企業等共通・その他

(パワー半導体)

- 国際的にも競争が激しく、中国勢の台頭など供給側の急激な変化もあるため、スピード感を持って対応すべきである。
- 前倒し終了は良いことである一方、前倒しができた、もしくは、前倒しが必要となった要因についての知見は今後他事業にも生かせるものであり、共有いただきたい。
- パワー半導体向け8インチウェハの技術開発について、技術範囲の絞り込み結果とその考え方をご報告いただきたい。

(データセンター)

- 次世代グリーンデータセンター（GDC）技術開発においては、GI 基金事業外において開発される技術も統合した場合の省エネ効果も併せて示すことを検討していただきたい。
- 各要素技術を統合したシステム実証と合わせて、実証結果の各要素技術へのフィードバックによる最適化を進めるとともに、可能なものについては要素技術毎の早期の実用化・社会実装も進めていただきたい。

(その他)

- 順調に進捗しているという報告だけでは議論になりづらいため、経営者が自らの言葉で説明することも重要であり、事務局における対応も含め、次回の報告の際には工夫すべきである。

2. 各実施企業等

① ローム株式会社

- パワー半導体については電気自動車向けの需要の立ち上がりが遅れている状況であるため、他分野の需要向けへの転換や市場形成など、引き続き戦略的に社会実装を進めていただきたい。
- 国際的にも競争が激しい中、モジュール化に関する研究開発の推進や、実用化に向けたノウハウ等により、引き続き他社との差別化を図っていただきたい。
- 伸ばしている知財保有件数を活かすための標準化戦略を推進していただきたい。

② 株式会社デンソー

- SiC デバイスによる優位性だけでなく、モジュール化やシステム化などその他の要素との相乗効果による優位性も確保していただきたい。
- CO2 削減は重要な指標であるが、それ以外の指標も含め多角的に本事業の効果を示していただきたい。
- 競争優位性の確保に向けて、自動車業界全体に対するアプローチも含め、戦略を示していただきたい。

③ ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社

- 様々な分野での社会実装が想定されているが、画像以外にも様々なセンサーが想定されるところ、どこまでカバーできるのかという観点も含め、最終ゴールのイメージを明確化していただきたい。
- 本事業で想定するプラットフォームと親和性の高い領域を示していただきたい。また、得られた成果の展開先（顧客とユースケース）の開拓を推進していただきたい。
- マーケットの拡大に向け、オープン&クローズ戦略を一層明確にし、推進していただきたい。

④ 富士通株式会社

- 量子とハイパフォーマンスコンピューティング（HPC）の両方に取り組んでいる強みがあることも踏まえ、オープン&クローズ戦略を推進していただきたい。

以上